

# 「ライオンの風をみた いちにち」

川戸 颯真 (かわと そうま) 3歳

聖水保育園  
(京都教区)

## ●表紙のことば●

見ればライオンだとすぐにわかりますね。たてがみも立派に画面に入りきらないほど力強く描かれています。颯真さんは「ライオンっておっきいなあ」とつぶやきながらお父さんライオンを描き、「目も大きく描いたよ、だってその方がいっぱい見られるし……」「口もいっぱい食べられるように大きくしといた」と満足そうだったようです。

他のこどもたちも「ライオンは強いし好きやねん」「赤ちゃんライオンってかわいいな」「いっぱいいたほうが楽しいしいっぱい描く」とお父さんライオンだけ描く子、子ライオンをたくさん描く子など、描き方や構図もさまざまだったそうです。先生は、描いている途中でも絵本をもう一度見て確かめたり、お友達と楽しくお話ししながらイメージが広げられたりできるように配慮されたようです。先生が自分のイメージを押しつけるのではなく、こどもたちそれぞれイメージを大切にしたらからこそ生まれた素敵な表現です。



おお はし いさお  
**大橋 功**

岡山大学学術研究院  
教育学域